

SATSUMASENDAI Master Plan 1

第1次薩摩川内市総合計画

第2編 基本構想

第1章 計画の目標

第2章 施策の基本方針

第3章 基本構想の実現と薩摩川内市の連携の強化に向けて
～薩摩川内一体化躍動プラン



第1章

計画の目標

第1節◎基本理念

第2節◎将来都市像

第3節◎市域の構成イメージ

田の神もどし【祁答院】

第1節 基本理念.....	32
1 “地域力”を育み、新しい地域創出を目指す	
2 “都市力”を最大限に発揮する	
3 市民参画によるまちづくりを進める	
4 実効性の高い行政経営を進める	
第2節 将来都市像.....	34
第3節 市域の構成イメージ.....	34
1 ゾーンごとの振興方向	
2 交流・連携軸	

第1節 基本理念

第1次薩摩川内市総合計画におけるまちづくりの基本理念は、「“地域力”が奏でる“都市力”の創出」です。

この基本理念は、「“地域力”を育み、新しい地域創出を目指す」、「“都市力”を最大限に発揮する」、「市民参画によるまちづくりを進める」、「実効性の高い行政経営を進める」の四つの視点を柱とします。

これからのまちづくりは、従来にも増して、「地域自らが考え、地域自らが取り組む主体的な地域づくり」を進めていくという視点が求められます。

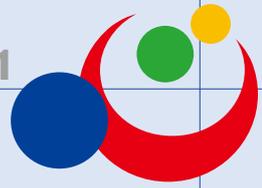
そのため、地域が持つ資源を再確認し、その歴史や特性を最大限に活かしつつその魅力に更に磨きをかけるとともに、人々の価値観や社会経済の変化など、様々な環境に対応した取組を展開していくことが必要となってきます。

合併前の市町村は、それぞれが持つ特性や立地条件を踏まえた様々なまちづくりを着実にを行い、多様性、個性を創出してきました。貴重な地域資源を育みながら、長年にわたって積み重ねてきたまちづくりの成果が、現在の姿となって地域の人々の暮らしを支えています。このようなまちづくりの成果を尊重しつつ、南九州の拠点都市として、時流に応じた新たな歴史を刻みながら新しい個性を創出する「地域らしさ」を重視したまちづくりを展開し、これを市内外に積極的に情報発信していくことが必要です。また、各分野において、こうしたまちづくりの中心的な役割を担う情報発信力のある多様な人材を育成していくことが求められます。

一方、本市全体で資源や施設を共有し、拠点的機能の分担・連携を図る中で、「都市力」を向上させ効果的に発展していくためには、魅力の高い都市機能を充実させるとともに、本市内の連携及び市外との交流を促進する快適で利便性の高い社会基盤の整備・強化等が必要です。

このようなことから、それぞれの地域や地区コミュニティの特性を活かしながら10万人都市の潜在力を最大限に発揮し、これらが連携することにより新しい価値を創出していくという方針の下、「“地域力”が奏でる“都市力”の創出」をまちづくりの基本理念（基本的姿勢）とします。

これにより、市民一人ひとりが住むことに誇りの持てるまちづくりが可能となり、本市の全国的な認知度も向上するものと考えられます。



1 “地域力”を育み、新しい地域創出を目指す

本市を構成する“まち”には、そこで生活を営んできた人々によって長年受け継がれた伝統や文化が形成され、地域の特性として醸成されてきました。本市は、面積が広く、島しょ部を有する自治体であることから、地域特性を活かした多彩な価値を有する「地域力」の向上を図ります。

2 “都市力”を最大限に発揮する

魅力の高い都市機能を充実させるとともに、本市内の連携及び市外との交流を促進する快適で利便性の高い幹線道路の整備や効率的な公共施設の整備など、生活・産業基盤の整備を図ります。また、都市機能が強化された一体感のあるまちの醸成に努め、10万人都市の魅力を最大限に発揮できるまちづくりを展開します。

3 市民参画[※]によるまちづくりを進める

市民と行政が同じ目標・視点に立ったまちづくりを進めるため、自治基本条例で定める「情報の共有」・「協働」・「参画」をまちづくりの基本的な原則とし、必要な情報を共有できるように情報公開を積極的に進めるとともに、市民の意見や意向を幅広く吸収し、施策展開に反映させる広聴の充実に努め、市民、市議会及び市がお互いを尊重しながら、それぞれの役割と責務を認識し、協働してまちづくりを進め、住民自治を実現していくことにより、市民参画のまちづくりを進めます。

※市民参画

行政の持つ情報を積極的に公開し、市民と行政が情報を共有しながら、政策等の形成過程において市民の意見を活かしていくこと。

4 実効性の高い行政経営を進める

10万人都市にふさわしいまちづくりを進めるため、行政組織のスリム化等による実効性の高い行政経営を進め、行政課題の多様化・高度化に対応した行政サービスの充実・強化を図ります。

第2節 将来都市像

本市の速やかな一体化を促進し、基本理念に掲げた「地域力」を高め、将来における「都市力」を向上させるための目標として、本市の将来都市像を「**市民が創り 市民が育む 交流躍動都市**」と設定します。

本市は、都市機能が集積している地域、緑豊かな農山村や趣のある温泉街地域、変化に富んだ海岸線を有する地域など、多彩な特性を持つ地域が結集した自治体であり、それぞれの特性に根ざす多彩な文化や風土が形成されています。加えて、市民生活を支え交流の基盤となる多くの資源が蓄積されているとともに、九州新幹線鹿児島ルートや南九州西回り自動車道など広域的な交流・連携の基盤が着々と整備されつつあります。

本市においては、南九州の拠点都市として、また、県都鹿児島市の隣接都市として、本市の持つ「多彩な特性と基盤の蓄積」を最大限に活かし、それぞれの潜在力を更に向上させるとともに、互いの連携を強くすることにより相乗効果を高め、自立性の高いまちづくりを進めていくことが求められています。

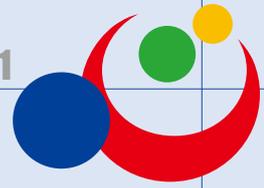
また、自然や歴史的・文化的資源と人々の営みというような「地域力」を育てながら「都市力」を発揮する新しいまちづくりを実践する主体は市民です。この「地域力」は、市民一人ひとりが、あるいは地区コミュニティが、お互いの信頼関係を築きながら共有できる将来像を描き、その実現に向かって、市民と市が協働し努力していくことにより育まれます。

このような考え方を基本とし、「市民が創り 市民が育む 交流躍動都市」を本市が目指すべき将来都市像とします。

第3節 市域の構成イメージ

本市の自然、産業、文化や土地利用等の特性を活かした均衡ある発展を目指すため、本市を大きく三つのゾーンに分け、次のように振興を図ります。

また、人やモノの活発な交流・連携を促進するために、「交流・連携軸」を設定します。



1 ゾーンごとの振興方向

(1) 都市文化ゾーン（川内の市街地）

ア ゾーンの特徴

都市文化ゾーンは、九州新幹線鹿児島ルートやJR鹿児島本線、肥薩おれんじ鉄道、南九州西回り自動車道、国道3号、国道267号などが交差する交通の要衝に位置しており、幹線道路や鉄道を利用して多くの入込み客を導く本市の玄関口です。

商業・教育・文化・医療・行政や地域公共交通機関等の都市機能が集積するなど、人・モノ・情報などの活発な交流の場として本市の中心的役割を担っており、また、工業団地には大型のIC関連工場群が立地し、市街地では土地区画整理事業による整備が進められるなど、本市における経済・物流の拠点地域として発展しています。

さらに、市街地を一級河川「川内川」が貫流するなど雄大な自然景観を兼ね備えており、古くは南九州地域の中心地として薩摩国府が置かれ、薩摩国分寺が建立されました。また、ニニギノミコトの陵墓とされる可愛山陵があるなど、古い歴史や文化遺産を有する空間でもあります。

イ ゾーンの将来像

「にぎわいと活力に満ちた、風格のある市街地（水景文化空間^{*}）の形成」

ウ 将来像のイメージ

- ① 高度な都市機能と潤いのある水と緑が共存する安全・安心で住みやすい空間
- ② 人・モノ・情報など多種多様な交流がある活力ある空間
- ③ 新たな文化・産業・技術を創出・育成する創造性あふれる空間
- ④ 市民が地域に誇りを持てる風格と魅力を兼ね備えた空間

エ 施策の展開方針

都市文化ゾーンにおいては、都市基盤の整備や魅力ある商業機能の創出、質の高い医療・保健・福祉・教育の充実、風格のある市街地の形成、市内各地域との道路・交通網や生活基盤等の整備により、市民が安心して生活でき、市民の交流拠点となる機能の充実に努めます。

また、本市の玄関口として田園文化ゾーン、海洋文化ゾーンがそれぞれ持つ自然・歴史・文化・伝統芸能・祭りなどの地域力を総合的に活用することで、市民や

市内事業者の活力を生み出し、にぎわいと活力に満ちた市街地づくりを進め、その都市力を最大限に発揮します。

※水景文化空間

癒しのある水辺、温かさあふれる緑など、雄大な川内川を中心とする自然環境を舞台に、伝統ある歴史・文化を磨きながら、市民一人ひとりが自らの地域への誇りや愛着を実感しつつ、いきいきと快適に生活し続けることのできる、都市アメニティ（都市環境の快適性、魅力ある環境、生活の質など）豊かな生活空間を象徴的に表した言葉。

(2) 田園文化ゾーン（樋脇・入来・東郷・祁答院及び川内の田園地帯）

ア ゾーンの特徴

田園文化ゾーンは、一級河川「川内川」流域沿いに、水と緑に抱かれた豊かな農地が広がり、米作、果樹栽培、野菜栽培、畜産などが盛んな農業地帯となっており、日本棚田百選の「内之尾棚田」を始めとする美しい農山村風景や国内希少野生動物種の一つである「ベッコウトンボ」が生息する藺牟田池など、海・川・山・湖の豊かな自然に恵まれています。

また、中世の武家集落の名残をとどめる「入来麓伝統的建造物群保存地区」や人形浄瑠璃創始期の原型をとどめる「東郷文弥節人形浄瑠璃」など歴史的・文化的資源が「地域の宝」として脈々と継承されています。

さらに、各地域には川内高城温泉、市比野温泉、入来温泉及び藺牟田温泉など古くから人々に親しまれてきた良質で多様な泉質の温泉が豊富にあります。

イ ゾーンの将来像

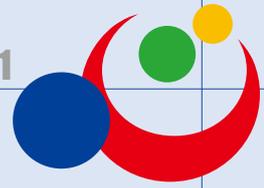
「水と緑と温泉に抱かれた、美しく趣のある田園地帯の形成」

ウ 将来像のイメージ

- ① 豊かな自然とふるさとの景観や伝統芸能などが継承される空間
- ② 都市と農山村との交流でにぎわう交流躍動の空間
- ③ 地域資源と特色ある農林畜産を活かした活気ある農山村空間
- ④ 地域に誇りを持ち、皆で支え合う健康長寿で生涯現役の空間

エ 施策の展開方針

田園文化ゾーンにおいては、認定農業者や集落営農組織の育成、耕作放棄地の解消、農業公社による受託作業や新規就農者の育成及び農地の流動化を推進するとともに、農業の持続的発展と多面的機能を発揮するため生産基盤整備に努め、効率的



で安定した魅力ある農業経営を目指すための農業振興に努めます。

また、畜産では、畜舎や飼料畑など生産基盤の確立や家畜防疫体制の強化、家畜排泄物適正処理など環境対策に努めます。

また、森林の持つ多様な機能を活用し、森林資源の質的な充実と活力ある林業の育成を図り、森林の持続的な経営・管理とその多面的な利用を推進します。

さらに、地域間の道路交通網の整備、田園市街地の形成などを進めるとともに、“活力と豊かさを感じるゴールド集落”の創出や新たな公共交通システムの導入等により、暮らしの安全・安心を確保します。

加えて、豊かな自然や地域の宝である伝統芸能・行事・文化財等を掘り起こし、再評価し、これらを農林畜産物や温泉を始めとする多様な地域資源と併せて総合的に活用していくことにより、付加価値の高い地場産業振興を図るとともに、新しい産業分野の創出により、若年層にも魅力ある活躍の場を創出します。

これらの取組により、水と緑と温泉に抱かれた、美しく趣のある田園地帯の形成を図り、更にはグリーン・ツーリズム等による都市と農山村との交流など、活力ある交流躍動の地域づくりを進めます。

(3) 海洋文化ゾーン（川内沿岸部及び甌島区域）

ア ゾーンの特徴

海洋文化ゾーンは、東シナ海・川内川河口に面した本土の沿岸部と甌島で構成されます。本土の沿岸部は、東シナ海に面した雄大な唐浜・西方海岸を有し、白砂青松の砂浜が広がります。また、甌島は、自然が生み出した奇岩・断崖・地層などの景勝地、変化に富んだ海岸線、風光明媚な長目の浜や里地域のトンボロ（陸繋砂州）など、他に類を見ない独特の景観や地形が広がる空間です。

特に甌島は離島という環境から、独自の文化が創り出され、何よりも人情豊かな島民が生活する「宝の島」です。国指定重要無形民俗文化財でユネスコ無形文化遺産^{*}にも登録された「甌島のトシドン」や里・下甌地域に残る武家屋敷など、貴重な歴史的・文化的資源が脈々と継承されており、鹿島町の中生代白亜紀後期の地層からは肉食恐竜の化石が採取されています。

さらに、東シナ海の恵まれた自然環境と好漁場の海に囲まれ、海洋資源を利用した水産業が盛んに行われており、本土の沿岸部ではちりめん漁を中心とした沿岸漁業、甌島においては一年を通じてキビナゴ漁を中心とした漁業が営まれ、クロマグロ・カンパチ・シマアジ・アワビ等の高級魚介類を主体とした養殖漁業、加工・流通体制の強化が図られています。

※ユネスコ無形文化遺産

ユネスコ（国連教育科学文化機関）によって選定される人類全体のための無形の文化であり、芸能（民族音楽・ダンス・劇）、祭礼、伝統工芸技術などが対象。生活形態や価値観の変化により、急速に失われつつある現状の危険性から保護することを目的としている。

イ ゾーンの将来像

「水産業の安定的な発展と海洋性の観光レクリエーションゾーンの形成」

ウ 将来像のイメージ

- ① 豊かな海洋資源を多面的に活用した海洋産業が盛んな空間
- ② 人情豊かな心温まる「おもてなし」による観光・交流躍動の空間
- ③ 若者から高齢者までいきいきと働き生活しやすい魅力ある空間
- ④ 相互扶助の精神に支えられ安心して健康に暮らせる癒しの空間

エ 施策の展開方針

海洋文化ゾーンにおいては、高級魚介類を主体とした養殖業や加工・流通体制の強化、水産資源供給基地としての地位の確立、新規就業者や後継者の育成・確保など、水産業の振興に努めるとともに、水産物の流通ルートの整備により地産地消を推進します。

また、豊かな海産物、他に類を見ない景観や伝統芸能・行事・文化財等を掘り起こし、再評価し、これらを総合的に活用します。

さらに、九州新幹線鹿児島ルートの中線開業や南九州西回り自動車道の整備促進による効果を最大限に導き出すため、人情豊かな心温まる「おもてなし」と海洋資源の多面的な活用により、ブルー・ツーリズムによる都市と漁村との交流を促進し、田園ゾーンにある良質で多様な泉質を持つ温泉と水産物との連携など、異質の資源の組み合わせによって、現代人の嗜好に対応した魅力ある観光地や広域観光ルートの形成等を推進します。

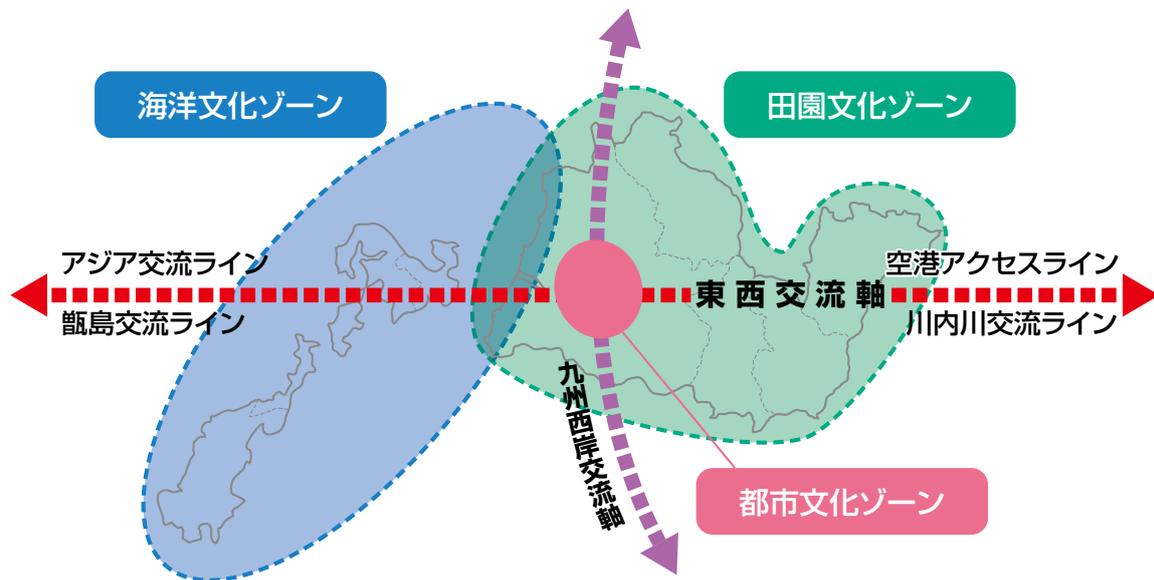
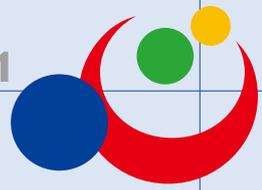
なお、海洋深層水^{*}については、農林水産物の高付加価値化等、その利活用について調査・研究を行います。

また、蘭牟田瀬戸架橋等の交通基盤の形成を図るとともに、医師・医療従事者の確保など市民生活に直結する地域医療等の暮らしの安全・安心を確保します。

こうした取組により、水産業の安定的な発展と海洋性の観光レクリエーションゾーンの形成を図り、活力と魅力ある「癒しの空間」づくりを進めます。

※海洋深層水

大陸棚沖合いの水深200メートルより深い層にある海水で、水温が低く清浄で、栄養素を多く含むなどの特性がある。清涼飲料水等への利用において、事業化が図られるとともに、水産養殖への活用、健康食品などへの利用のほか、冷却水としての活用などに関する調査・研究が進められている。



2 交流・連携軸

本市内の連携及び市外との交流を活発化させるために、高規格幹線道路，地域高規格道路，主要幹線道路，都市核道路[※]やこれらを補完する道路の整備を促進し，本市における九州西岸交流軸，東西交流軸，地域連携軸の形成を図ります。

※都市核道路

川内市街地の2環状8放射道路網などの都市文化ゾーン等における幹線道路網のこと。各地域から川内市街地へ、あるいはインターチェンジ等へのアクセス向上のための道路。

(1) 九州西岸交流軸

九州新幹線鹿児島ルート，南九州西回り自動車道といった高速交通体系の整備や国道3号，国道328号の改良整備，九州新幹線及び肥薩おれんじ鉄道の利用を促進し，北部九州・中国・関西圏まで視野に入れた人とモノの交流を促進します。

(2) 東西交流軸

本市内の連携及び市外との交流の活発化を図るために，「甌島交流ライン[※]」及び「川内川交流ライン[※]」の形成を図ります。また，鹿児島空港への利便性向上やアジア方面との交流を促進するために，「空港アクセスライン[※]」及び「アジア交流ライン[※]」の形成を進めます。

※**甌島交流ライン**

- ・ 甌島と川内港とを結ぶ航路の開設に向けた調整
- ・ 川内港～新幹線川内駅間の交通アクセスの向上
- ・ 地域間交流の促進

※**川内川交流ライン**

- ・ 国道267号、県道43号川内串木野線、県道44号京泊大小路線、県道394号山崎川内線の整備促進、地域高規格道路の指定促進
- ・ 川薩グリーンロード（広域営農団地農道）の整備促進
- ・ 川内川流域における観光ルートの設定やイベントの共同開催による交流の推進

※**空港アクセスライン**

- ・ 空港連携線（川内空港間）の整備促進

※**アジア交流ライン**

- ・ 川内港とアジア地域を結ぶ定期航路の拡充と産業、経済、学術、スポーツ等の多様な交流の推進

(3) 地域連携軸

本市内の連携を活発化させるために、港湾や南九州西回り自動車道インターチェンジなどの交通拠点とを結ぶ幹線道路網を構築し、「都市核道路[※]」・「川内～樋脇連携ライン[※]」・「川内～入来～祁答院連携ライン[※]」・「川内～東郷連携ライン[※]」・「東郷～樋脇連携ライン[※]」・「東郷～樋脇～入来連携ライン[※]」・「甌島縦貫ライン[※]」の形成を図ります。

※**都市核道路**

- ・ 宮崎バイパス（薩摩川内郡IC関連）など川内市街地の2環状8放射道路網の整備及び整備促進

※**川内～樋脇連携ライン**

- ・ 県道36号川内郡山線、県道42号川内加治木線、県道333号川内祁答院線の整備促進

※**川内～入来～祁答院連携ライン**

- ・ 県道42号川内加治木線、県道333号川内祁答院線、県道462号堂山宮之城線の整備促進

※**川内～東郷連携ライン**

- ・ 県道339号東郷西方港線の整備促進

※**東郷～樋脇連携ライン**

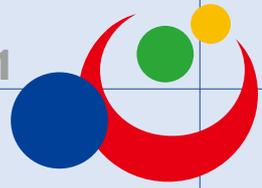
- ・ 阿久根～東郷～樋脇～郡山連携線（県道46号阿久根東郷線、県道335号市比野東郷線、県道36号川内郡山線、県道39号串木野樋脇線等）の整備促進

※**東郷～樋脇～入来連携ライン**

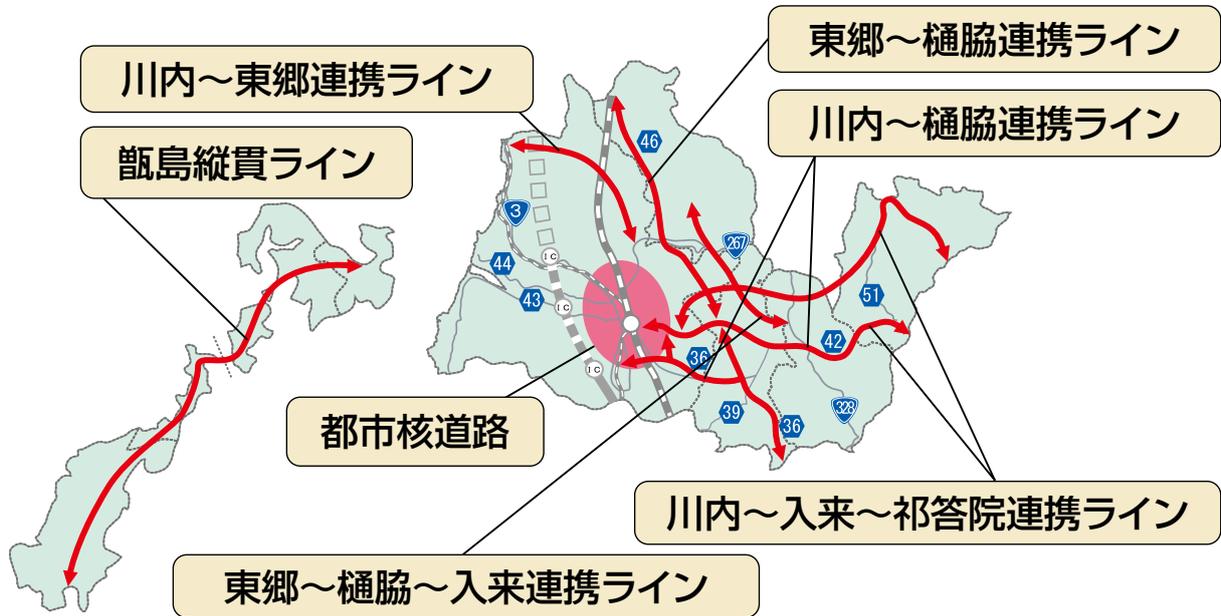
- ・ 県道346号山田入来線の整備促進

※**甌島縦貫ライン**

- ・ 甌島縦貫道（県道348号桑之浦里港線、県道351号鹿島上甌線、県道349号手打蘭牟田港線）の整備促進及び蘭牟田瀬戸架橋の建設促進



■ 地域連携軸



第1次薩摩川内市総合計画基本構想の体系図

